

国立大学法人奈良教育大学教員のサバティカル制度に関する規則

平成19年3月23日  
制 定

改正 平成23年9月22日規則第40号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人奈良教育大学教員の就業に関する規則(平成16年規則第44号)第10条第3項の規定に基づき、サバティカル制度の取り扱いについて定めるものとする。

(定義)

第2条 サバティカル制度とは、奈良教育大学(以下「本学」という。)の教員(附属学校の教員を除く。以下同じ)に対し、本学の教育・研究・管理運営の向上に寄与する目的で職務の全部又は一部を免除し、一定の期間、教員が自己研修に専念することをいい、その期間をサバティカル研修期間という。

(対象者)

第3条 サバティカル研修を取得できる者は、次の各号に該当する者とする。

- 一 本学の教員として、7年以上継続して勤務している者
- 二 本学の教員として、教育研究又は管理運営業務に相応の実績のある者
- 三 サバティカル研修取得後、3年以上(定年退職時までの在職期間が3年未満である者にあつては、2年以上)本学に勤務できる者
- 四 過去7年以内に6ヶ月以上、教育業務を免除(文部科学省内地研究員を含む。)されたことのない者

(取得者の責務)

第4条 サバティカル研修取得者は、期間中、本学の教員としての自覚と責任を持って行動しなければならない。

(取得期間及び通算期間)

第5条 サバティカル研修の取得期間は、原則として、1ヶ月以上1年以内とする。ただし、年度をまたがることはできない。また、教員の本学での勤務期間を通じて、通算して最長2年の期間とする。

(申請)

第6条 サバティカル研修の取得を希望する者は、講座主任、センター長を経由して、前年度の9月末日までに、サバティカル研修申請書(別紙様式1)を学長に提出するものとする。

(選考)

第7条 学長は、前条により申請された者の内から、計画内容、勤務成績を考慮し、また、大学業務への影響等を総合的に判断して選考する。ただし、選考する人数は、若干名とする。

(給与)

第8条 サバティカル研修を取得する者の給与は、別表の基準により支給する。

(取得期間中の措置)

第9条 サバティカル研修取得を認められた教員に対する取得期間中の担当授業に対する措置として、実情に応じて非常勤講師又は特任教員を配置することができる。

(教員研究費)

第10条 サバティカル研修を取得する教員の教員研究費は支給する。

(昇格及び昇給)

第11条 学長は、サバティカル研修を取得した者についても、昇格及び昇給の対象とすることができる。

(報告)

第12条 サバティカル研修を取得した者は、取得期間終了後にサバティカル研修結果報告書（別紙様式2）を提出しなければならない。

（取得期間の変更）

第13条 サバティカル研修の取得を認められた者がやむを得ない事情により期間を変更する場合には、事前に申し出て学長の承認を得なければならない。

（サバティカル研修取得期間中の兼業）

第14条 サバティカル研修取得期間中は、原則として兼業を認めない。ただし、特別な事情により兼業する場合は、学長の許可を得なければならない。

2 サバティカル研修取得期間中における兼業は、本制度の趣旨を考慮して取扱うものとする。

（雑則）

第15条 この規則に定めるもののほか、制度実施に必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規則は、平成19年3月23日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則（平成23年規則第40号）

1 この規則は、平成23年10月1日から施行する。

2 平成24年度の申請については、第6条の規定にかかわらず、平成23年10月31日までとする。

別表（第8条関係）

サバティカル研修取得にかかる給与の支給割合

区分	職務の全部を免除された場合	授業は全て担当し、職務の一部（授業以外）を免除された場合	備 考
俸給	100分の80	100分の100	職務免除の内容により学長が、100分の80～100分の100の範囲で支給割合を決定する。

サバティカル研修申請書

奈良教育大学長 殿	平成 年 月 日 申請者 所属・職名 氏 名 印 サバティカル研修を取得したいので、下記のとおり申請します。 記			
1. サバティカル研修のテーマ (実施計画の詳細は裏面に記入してください。)				
2. サバティカル研修利用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
3. サバティカル研修実施場所				
4. 利用形態  (期間中の授業、学位論文、学位研究報告書の作成等指導、管理運営に関する職務の免除措置等について記入して下さい。)	申請者の職務免除の区分	<input type="checkbox"/> 全部免除	<input type="checkbox"/> 一部免除  〈免除内容〉 記入例： (卒論指導のみ担当)	
5. 期間中の業務措置 【※注1参照】	申請者の授業負担の有無	<input type="checkbox"/> 有  <input type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 申請者が実施 <input type="checkbox"/> 他の教員が一部代替 <input type="checkbox"/> 開講時期の変更 <input type="checkbox"/> 他の教員が代替 <input type="checkbox"/> 休講 (詳細を記入)	
	申請者の卒論・修論・学位研究報告書指導等の有無	<input type="checkbox"/> 有  <input type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 申請者が実施 <input type="checkbox"/> 他の教員が一部代替 <input type="checkbox"/> 他の教員が代替 <input type="checkbox"/> 休講 (詳細を記入)	
	申請者の管理運営等に関する職務の有無	<input type="checkbox"/> 有  <input type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 申請者が実施 <input type="checkbox"/> 他の職員が一部代替 <input type="checkbox"/> 他の職員が代替 <input type="checkbox"/> 全て免除 (詳細を記入)	
	6. 兼業の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※研修期間中は、原則として兼業を認めません。(別途定める場合を除く。)			
	7. 講座主任等の意見 (申請者の不在に伴う代替計画等を含む) 【※注2参照】			講座主任・センター長 印

8. 申請要件等	①奈良教育大学への採用年月（昭和・平成 年 月 日）	
	②生年月日（昭和 年 月 日生 歳）	
	③サバティカル制度利用の有無 （ <input type="checkbox"/> 有 時期〈平成 年 月 ～ 平成 年 月〉 / <input type="checkbox"/> 無）	
	④過去7年以内の教育業務免除の有無 （ <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無） ※ 有の場合は、下欄に内容等を記入願います。	
	研究期間	利用した制度等の名称
	年 月 日～ 年 月 日	
	年 月 日～ 年 月 日	
※注1 提出時点における申請者本人の希望について、期間中の授業等の負担内容、免除内容等を記入して下さい。 ※注2 講座主任等とは、講座主任、センター長をいう。		

サバティカル研修実施計画	
<p>1. 研修の概要 (取り組む研修の内容について記入してください。)</p>	
<p>2. 研修の目的と期待される成果</p>	
<p>3. 研修計画 (できる限り具体的な計画を記入してください。)</p>	
<p>4. その他 (1～3以外に必要な事項があれば記入してください。)</p>	

サバティカル研修結果報告書

平成 年 月 日

奈良教育大学長 殿

申請者  
所属・職名  
氏 名

印

サバティカル研修を終了しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. サバティカル研修のテーマ	
2. サバティカル研修の期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
3. サバティカル研修実施場所	
4. サバティカル研修の概要及び結果	
5. 研修成果の公表予定(論文発表、学会発表、学内向け成果報告会の予定等)	